

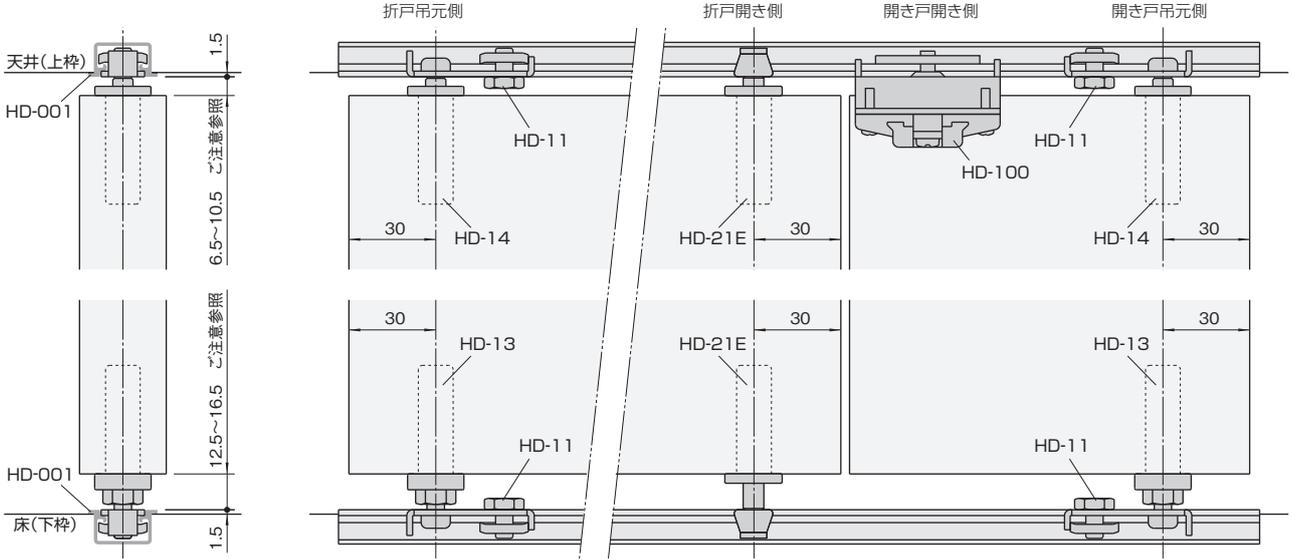
開き戸金具  
1  
引戸金具  
2  
上吊式引戸金具  
3  
AFD  
HR  
SD  
連動引戸  
オプション  
引戸錠  
4  
移動間仕切金具  
5  
室内用アルミ建具  
6  
折戸金具  
7  
取手・引手  
8  
スライド丁番  
9  
スライドワイヤーバスケット  
10  
収納・吊金具  
11  
その他の家具金物  
12  
物干金具・諸金具  
13  
設計施工ガイド  
会社案内

**使用条件**

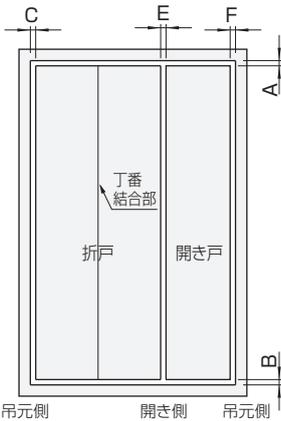
◇折戸1組の総質量:24kg以下 ◇開き戸1枚の総質量:12kg以下 ◇折戸1組の戸幅:600~900mm ◇戸の高さ:2,400mm以下  
◇戸の厚さ:20mm以上、開き戸用キャッチHD-100を使用の場合:29~35mm  
※折戸1組とは2枚の戸板を丁番で接続した状態を示しています。折戸を構成する戸の枚数は2枚に限ります。3枚以上の連結はできません。  
※HD-16を下部ピボットに使用の場合は、戸の厚さ:22mm以上となります。

**設計ガイド**

**■金具の納まり参考図**



**■戸と枠(またはレール)との必要すきま寸法**



**●上下のすきま**

A=上部レールと戸の間のすきま寸法=6.5~10.5  
B=下部レールと戸の間のすきま寸法=12.5~16.5  
HD-16使用の場合=7.5~11.5

**●左右のすきま設定**

※右表は戸が軸回転する範囲の参考値です。この値に枠や戸の反りなどを考慮した寸法をプラスして設定してください。

**C+E+F**

使用丁番:HD-35、( )内はHD-38

戸厚/戸幅	300	350	400	450
20	5.1(5.5)	4.8(5.1)	4.6(4.9)	4.5(4.7)
23	6.5(6.9)	6.2(6.5)	5.9(6.2)	5.7(6.0)
27	8.7(9.1)	8.3(8.6)	7.9(8.3)	7.7(7.0)
30	10.4(10.8)	9.9(10.2)	9.5(9.8)	9.2(9.5)
33	12.3(12.7)	11.7(12.1)	11.3(11.6)	10.9(11.3)
35	13.6(14.1)	13.0(13.4)	12.5(12.9)	12.2(12.5)
40	17.4(17.9)	16.6(17.1)	16.0(16.4)	15.6(16.0)

**C=F(吊元側すきま寸法)**

戸厚	C=F
20	1.6
23	2.1
27	2.9
30	3.5
33	4.2
35	4.7
40	6.1

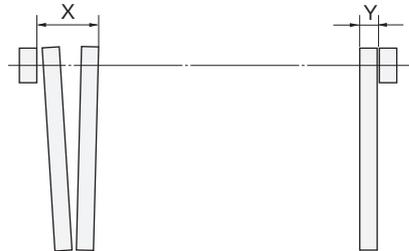
※上記の参考値は「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」、「丁番結合部のすきまは0mm」として算出しています。

**ご注意**

上下のすきま寸法は、AとBの最小値どうしを足した寸法(=19mm、HD-16を使用の場合は14mm)、あるいは最大値どうしを足した寸法(=27mm、HD-16を使用の場合は22mm)に設定しますと、戸の上下調整ができませんのでご注意ください。  
上下のすきま=Aの最小値+Bの最小値+調整に必要な寸法(ただし、HD-13を使用の場合は:19mm<上下のすきま<27mm、HD-16を使用の場合は:14mm<上下のすきま<22mm)  
上下のすきま寸法は、次ページ施工ガイド通りの施工を基に設定しています。すきま寸法は、枠や床のたわみや、戸の反りの発生などを考慮のうえ余裕のある寸法を設定してください。

■表記追加 (25/07/01)

**■戸を開けた時のX・Y寸法**



X・Y寸法とは、開口部内に干渉する数値を表しています。内側に引出しなどを設置する場合がございます。

戸厚24mm以下の場合  $X = 71\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$

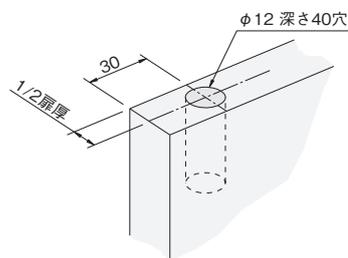
戸厚24mm以上の場合  $X = 47\text{mm} + \text{戸厚} \times 1.5 + \text{吊元側すきま寸法}$

$Y = 30\text{mm} + \frac{\text{戸厚}}{2} + \text{吊元側すきま寸法}$

※上記計算式は「使用丁番HD-35、HD-38」、「上下の金具の軸位置=戸端から30mm」として算出しています。

**■戸の加工寸法参考図**

上下ピボットおよび案内ランナーの取付け加工寸法



1組の折戸の上下4ヶ所に右図のようにφ12mm、深さ40mmの穴をあけます。

※折戸+開き戸にする場合は開き戸の吊元側上下も含めて計6ヶ所になります。

